

卒業式 式辞

83名の皆様、卒業おめでとうございます。

本日は南丹市 西村市長様、学友会 玉田会長様 はじめ多くのご来賓の方々のご列席のもと、京都医療科学大学卒業式をとりおこなえますことは、本学にとりましてもまた私にとりましても、たいへん大きな喜びであります。この卒業式にご出席くださいましたご家族、関係者の方々にも心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆様は、2月末まで診療放射線技師国家試験があり、毎日夜遅くまで勉学に明け暮れていましたが、今日はさわやかな気持ちでこの日を迎えたことでしょう。ただ、皆様がこの良き日を迎えることができましたのは、ご自身の毎日の努力はもちろんですが、今日まで深い愛情を注ぎ、励ましてくださったご両親、ご家族、その他多くの方々の支援があったからこそです。保護者の方々には、本学の教育に対してご理解とご協力をいただきましたことに、この場を借りて深く御礼申し上げます。

皆様はこれから全国各地の病院・職場で、診療放射線技師として働くこととなります。ただ診療放射線技師の資格を持ったとはいえ、まだ生まれたばかりの、ひとり歩きできない赤ちゃんなのです。現場ではまだ何もできません。親のお陰で赤ちゃんから何年もかけて成長するように、これからは現場の先輩に教えてもらいながら、一人前の放射線技師に成長してゆきます。

これからも生涯、本学の建学の精神

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成することを以て目的とする」

を心に留めておいてください。放射線医療の技術とともに品性、人間性を磨いてください。仕事をしていると、どのような仕事であれ必ずその人の人間性が現れてきます。「一流の人間性があるからこそ、初めて一流の仕事が出来るのです。」

大学生活を振り返ると、楽しいことも苦しいこともあったことでしょう。私にとっても皆様と一緒に食べた美味しいバーベキュー・スポーツ大会・学園祭など楽しい思い出が一杯です。しかし時には試験で実力が発揮できなかった時も、勉強が分からず苦勞した時も、あるいは友人関係で悩んだ時もあったはずです。皆様はそれらの苦勞、悩みを乗り越えて、この日を迎えることができました。

放射線の医学利用、放射線診断・放射線治療は急速に進歩しています。本学では放射線の基礎から最先端の放射線技術まで学びました。しかし現在の最先端技術も数年後には新しい技術に置き換わります。卒業生の皆様はこれから50年近く診療放射線技師として仕事することになりますが、今から50年前の1969年、昭和44年といえば、カラーテレビが普及し始めたばかりでした。まだパソコンもインターネットもありませんし、携帯電話、スマートフォンもありません

んでした。もちろん CT 装置も MRI 装置も開発されていません。

しかし、この 50 年間に科学は急速に進歩し、CT, MRI が作られるようになり、病気の診断・治療に欠かせなくなりました。また人工知能 AI も医療の分野に導入されようとしています。将棋の世界では高校生棋士の藤井聡太君の活躍が話題になっていますが、囲碁・将棋の世界では、人間は人工知能 AI に勝つことができません。いかに強いプロといえども 100 回勝負して 100 回とも人工知能に負けます。私達が取り扱う画像はすべてデジタル画像ですので、容易にコンピュータ処理できる、人工知能の得意とする分野です。あと数年もすると、医療の分野でも人工知能がどんどん使われていることでしょう。また私達は人工知能をうまく使いこなさなければなりません。

新しい技術を積極的に取り入れ、それをマスターしなければなりません。これから難しい技術、困難な局面にいくつも出会います。それらを解決し、乗り越えてゆかねばなりません。ただ、人生はなかなか思うようにならないものです。予定通り、計画通りには進みません。人生は挫折するものです。「その場、その場でベストを尽くす」しかありません。家族・友人・同僚・先輩などに助けをもらい、励ましてもらいながら、努力しベストを尽くせば、必ず道は開けてきます。

我々は病院で「患者を相手にする仕事」です。病気で苦しんでいる患者に毎日接することになりますので、最先端の技術に加えて、やさしい心を持って、困った人を助ける気持ちで、毎日仕事をしてください。診療放射線技師は患者を助ける、人に役立つ仕事です。「自分のためだけでなく、他の人の役に立つのが、最高の幸せです。」

本学は創立 91 周年を迎えた、日本で一番古い診療放射線技師の養成校です。91 年間に本学を卒業した 4 千数百人の先輩の苦労があったからこそ、今日があるということを忘れないでください。

「卒業生の皆様が本学をさらに発展させる」という強い自覚と責任を持ってください。本学が発展するかどうかは、皆様如何にかかっています。

皆様は 4 月からそれぞれの病院で、職場で、診療放射線技師として活躍され、社会に貢献する人材になられることを、心より期待しています。

皆様の輝かしい新しい門出を祝福して、私の饞の言葉といたします。

2019 年 3 月 9 日
学校法人島津学園
京都医療科学大学
学長 遠藤 啓吾